



令和元年 6月 25日
第 2 3 6 号

〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

障害のある求職者の実態調査の中間報告を公表します

公共職業安定所（以下「ハローワーク」という。）を通じて就職する障害者の数は年々増加しており、それとともにハローワークへの新規求職申込件数及び有効求職者数も増加しています。

本調査は、ハローワークに登録している障害のある求職者の実態把握を目的として調査を行ったものです。

なお、本調査の全体は、令和元年度末に「障害のある求職者の実態等に関する調査研究」の調査研究報告書としてまとめる予定ですが、今般、厚生労働省の平成30年度障害者雇用実態調査結果の公表にあわせて、中間報告としてとりまとめ、一部調査項目についての集計結果について、公表します。

本中間報告は、ハローワークにおける障害のある求職者 4,962 人分の調査結果を集計しています。

【中間報告の主なポイント】

離職理由 [前職]

- ・身体障害者「障害・病気のため」48.4%
- ・知的障害者「業務遂行上の課題あり」21.2%
- ・精神障害者「障害・病気のため」60.1%
- ・発達障害者「障害・病気のため」39.8%

勤続期間 [前職]

- ・身体障害者「10年以上」38.6%
- ・知的障害者「1～3年未満」24.0%
- ・精神障害者「1～3年未満」26.4%
- ・発達障害者「1～3年未満」32.3%

離職防止に必要な措置や配慮 [前職]

- ・身体障害者「能力が発揮できる仕事への配置」14.6%
- ・知的障害者「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」24.0%
- ・精神障害者「調子の悪いときに休みをとりやすくする」35.1%
- ・発達障害者「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」34.5%

注) 重複障害のある者はそれぞれの障害に重複して計上しています。

「中間報告の概要」は別紙のとおり

中間報告の詳細は、障害者職業総合センター研究部門ホームページに掲載しています。

研究部門ホームページ (<http://www.nivr.jeed.or.jp/>)

問合せ：研究企画部企画調整室（担当：高井・山永）
TEL：043-297-9067
Mail：vrsr@jeed.or.jp
URL：http://www.nivr.jeed.or.jp

発行：企画部情報公開広報課
TEL：043-213-6207
Mail：info@jeed.or.jp
URL：http://www.jeed.or.jp

中間報告の概要

1 身体障害者

(1) [前職] 具体的な離職理由

「障害・病気のため」が48.4%と最も多く、次いで「業務遂行上の課題あり」が8.8%、「労働条件があわない」が8.0%となっている。

(2) [前職] 勤続期間

10年以上が38.6%と最も多く、次いで1～3年未満が19.6%、5～10年未満が16.8%となっている。

(3) [前職] 離職を防ぐことができたと考えられる職場での措置や配慮

「特になし」が42.1%と最も多いが、具体的な措置や配慮（こういう措置や配慮があれば離職しなかった）としては、「能力が発揮できる仕事への配置」が14.6%、「調子の悪いときに休みをとりやすくする」が13.8%となっている。

2 知的障害者

(1) [前職] 具体的な離職理由

「業務遂行上の課題あり」が21.2%と最も多く、次いで「人間関係の悪化」が20.0%、「障害・病気のため」が17.7%となっている。

(2) [前職] 勤続期間

1～3年未満が24.0%と最も多く、次いで1～3か月未満が16.5%、10年以上が15.9%となっている。

(3) [前職] 離職を防ぐことができたと考えられる職場での措置や配慮

「特になし」が29.3%と最も多いが、具体的な措置や配慮（こういう措置や配慮があれば離職しなかった）としては、「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」が24.0%と多く、次いで「能力が発揮できる仕事への配置」が23.1%となっている。

3 精神障害者

(1) [前職] 具体的な離職理由

「障害・病気のため」が60.1%と最も多く、次いで「人間関係の悪化」が12.9%、「業務遂行上の課題あり」が8.4%となっている。

(2) [前職] 勤続期間

1～3年未満が26.4%と最も多く、次いで10年以上が14.1%、6か月～1年未満が12.6%となっている。

(3) [前職] 離職を防ぐことができたと考えられる職場での措置や配慮

「調子の悪いときに休みをとりやすくする」が35.1%と最も多く、次いで「特になし」が24.2%、「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」が17.8%となっている。

4 発達障害者

(1) [前職] 具体的な離職理由

「障害・病気のため」が39.8%と最も多く、次いで「業務遂行上の課題あり」が23.1%、「人間関係の悪化」が19.6%となっている。

(2) [前職] 勤続期間

1～3年未満が32.3%と最も多く、次いで1～3か月未満が16.5%、6か月～1年未満が13.2%となっている。

(3) [前職] 離職を防ぐことができたと考えられる職場での措置や配慮

「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」が34.5%と最も多く、次いで「能力が発揮できる仕事への配置」が32.4%、「業務遂行の支援や本人、周囲に助言する者等の配置」が25.2%となっている。